

ねじ構造の強度設計指針 KHKS 1222 (2012) 平成 24 年 6 月 6 日改正

本出版物は、「ねじ構造の強度設計指針 KHKS 1222 (2007)」(平成 19 年 7 月 18 日改正)と以下の新旧対照表を参照の上ご利用ください。

頁、行等	新	旧
表紙	KHKS 1222 (2012) 平成 24 年 6 月 6 日改正	KHKS 1222 (2007) 平成 19 年 7 月 18 日改正
P.II	まえがき この指針は、高圧ガス保安協会技術基準の制定等に関する規程に基づいて、圧力容器規格委員会の審議を経て、高圧ガス保安協会会長が改正した高圧ガス保安協会技術基準である。これによって、「ねじ構造の強度設計指針 KHKS 1222 (2007)」は改正され、この指針に置き換えられた。	まえがき この指針は、高圧ガス保安協会技術基準の制定等に関する規程に基づいて、圧力容器規格委員会及びねじ構造分科会の審議を経て、高圧ガス保安協会会長が改正した高圧ガス保安協会技術基準である。これによって、「ねじ構造の強度設計指針 KHKS 1222 (2007)」は改正され、この指針に置き換えられた。
P.VI 下から 4 行目	〒105-8447 東京都港区虎ノ門 4-3-1 3 神谷町セントラルプレイス	〒105-8447 東京都港区虎ノ門 4-3-9 住友新虎ノ門ビル
P.VIII 上から 6 行目	解説 C 2007 年の改正内容について	解説 C 改正内容について
P.VIII 上から 7 行目	1. 改正の履歴及び概要	1. 改正の概要
P.I 上から 12 行目	h) ASME B 16.15 Cast Copper Alloy Threaded Fittings に規定のねじ	h) ASME B 16.15 Cast Bronze Threaded Fittings に規定のねじ
P.I 上から 13 行目	i) ASME B 16.24 Cast Copper Alloy Pipe Flanges and Flanged Fittings: Classes 150, 300, 600, 900, 1500, and 2500 に規定のねじ	i) ASME B 16.24 Cast Copper Alloy Pipe Flanges and Flanged Fittings: Classes 150, 300, 400, 600, 900, 1500, and 2500 に規定のねじ
P.3 上から 4 行目 P.37 上から 12 行目 P.42 上から 2 行目	JIS B 8265 附属書 G の G.4.1 d) 2)	JIS B 8265 附属書 3 の 4.1 c) 2)
P.3 上から 5 行目 P.42 上から 3 行目	同附属書 G の G.4.1 a)	同附属書 3 の 4.1 a)
P.15 上から 10 行目	d) オーステナイト系ステンレス鋼及びニッケルクロム鉄合金($10^6 \leq N \leq 10^{11}$ 回)	d) オーステナイト系ステンレス鋼及びニッケルクロム鉄合金($N \geq 10^6$ 回)
P.45 下から 7 行目	指針 4.4.1.1 の W_{pm} より	指針 4.4 の W_{pm} より
P.46 上から 3 行目	$\alpha = 0.524$ [ねじ山の荷重を受ける側のフランク角 (rad)] (30°)	$\alpha = 0.524$ [ねじ山の荷重を受ける側のフランク角 (rad)] (30 度)
P.55 上から 6 行目	解説 C は、ねじ構造の強度設計指針の改正履歴を示すと共に、その改正内容について説明したものである。	解説 C は、今回 (2007 年) の改正について説明したものである。
P.60 下から 7 行目 P.63 上から 14 行目、上から 15 行目 P.72 上から 12 行目、上から 13 行目 P.76 上から 13 行目 P.77 上から 1 行目	N/mm^2	N/mm
P.73 上から 2 行目	JIS B 8250 (現在は、JIS B 8266「圧力容器の構造－特定規格」、(以下、単に JIS B 8266 という。))	JIS B 8250 (JIS B 8266「圧力容器の構造－特定規格」: 2007 年改正時)
P.73 下から 4 行目	特定設備検査規則の別表第 1 (現在は、特定設備検査規則例示基準別添 1 (以下、単に別添 1 という。)) 別表第 1)	特定設備検査規則の別表第 1 (特定設備検査規則例示基準別添 1 別表第 1 : 2007 年改正時)

P.73 下から 1 行目	同表の許容引張応力の値〔別表第 1, 備考 3(1)参照 (現_別添 1 別表第 1 注 (43)) 〕	同表の許容引張応力の値〔別表第 1, 備考 3(1)参照 (別添 1 別表第 1 注 (43) : 2007 年改正時) 〕
P.88 下から 14 行目	JIS B 8250 (現_JIS B 8266)	JIS B 8250 (JIS B 8266 「圧力容器の構造－特定規格」 : 2007 年改正時)
P.88 下から 2 行目 P.90 上から 1 行目、下から 6 行目 下から 2 行目 P.91 下から 3 行目 P.92 上から 3 行目、上から 4 行目	JIS B 8250 (現_JIS B 8266)	JIS B 8250 (JIS B 8266 : 2007 年改正時)
P.95 上から 1 行目	<p>解説 [C] 改正内容について</p> <p>1. 改正の履歴及び概要</p> <p>1.1 改正の履歴</p> <p>「ねじ構造の強度設計指針」(KHKS 1222) は、「ねじ構造の強度設計指針 (KHK E 014-1986)」として制定され、2007 年の見直しにて技術基準番号が KHKS 1222 に変更されたものであり、改正履歴は以下の通りである。</p> <p>1986 年 10 月 20 日 : 発行 2007 年 7 月 18 日 : 改正 2012 年 6 月 6 日 : 改正</p> <p>1.2 2007 年の改正概要について</p> <p>2007 年改正時の主要改正事項を以下の a)~e) に示す。各改正事項の詳細については 2. から 5. に記載するのでそちらを参照願いたい。</p> <p>a) ねじ込み式の場合の荷重集中係数の変更</p>	<p>解説 [C] 2007 年の改正内容について</p> <p>1. 改正の概要</p> <p>(新設)</p> <p>今回の主要改正事項を以下の a)~e) に示す。</p> <p>a) ねじ込み式の場合の荷重集中係数の変更</p>
96 上から 1 行目	<p>1.3 2012 年の改正概要について</p> <p>2012 年 4 月に開催された圧力容器規格委員会にて基準の定期見直しに係る審議が行われ、内容確認のみで定期見直しを終了することが決定された。ただし、引用規格の名称や引用条項については、委員会審議の必要がない範囲で見直しを行っている。</p> <p>従って、2012 年の改正は規格名称等の見直しなど軽微な変更であり、技術的内容の変更を伴うものではない。</p>	(新設)
P.96 上から 2 行目	2007 年版改正において	今回
P.96 上から 4 行目、下から 3 行目 P.108 上から 3 行目	2007 年版において	今回
P.96 下から 6 行目、下から 3 行目	KHK 指針(KHK E 014)	KHK 指針
P.99 上から 6 行目 P.116 上から 9 行目	2007 年	今回
P.99 上から 7 行目 P.116 下から 12 行目 P.117 下から 7 行目	(削除)	今回
P.116 上から 12 行目	2007 年の改正で	今回
P.116 下から 13 行目 P.117 下から 4 行目	KHK 「超高压ガス設備に関する基準(KHK S 0220(2004))」	KHK 「超高压ガス設備に関する基準」
P.116 下から 15 行目	この 2 本の	今回はこの 2 本の
p.117 上から 2 行目	KHK 「超高压ガス設備に関する基準 (KHK S 0220(2004))」	KHK 基準「超高压ガス設備に関する基準 (KHK S 0220(2004))」